



感染症から 暮らしを守る

研究の最前線から学ぶ
予防と未来への備え



2026年9月26日(土)
13:00 - 15:00



京都産業大学
むすびわざ館



アクセス

入場無料・事前申し込み不要

※定員を超過した場合は、ご入場いただけない場合があります。



調査地に飛来した野鳥



BSL3実験室



動物を待つマダニ

プログラム

第1部 基調講演 (13:05～)

自然科学の発展が
感染症研究にもたらす影響

四ノ宮 成祥

(国立健康危機管理研究機構・
国立感染症研究所 安全管理研究センター)

第2部 シンポジウム (13:50～)

- 植物がつくる天然の抗ウイルスタンパク質
— その働きと未来への可能性 —

津下 英明 (生命科学部・教授)、羽深 典之 (生命科学部・客員研究員)

- 忍び寄るマダニ感染症
— 私たちが知っておくべきリスクと予防 —

前田 秋彦 (生命科学部・教授)

- 鳥インフルエンザ研究20年の歩み

高桑 弘樹 (生命科学部・教授)

- 新型コロナへの罹りやすさと人々の行動・意識
— ながはま研究から —

広田 茂 (経済学部・教授)

第3部 総合討論 (14:50～)

あなたと家族を守るために
知っておきたい感染症との向き合い方

お問い合わせ

京都産業大学 研究機構

TEL: 075-705-3255 メール: ksu-kenkyusuishin@star.kyoto-su.ac.jp

